

学 会 録 事

1. 2021 年度第 7 回持ち回り評議員会

2021 年度第 7 回持ち回り評議員会（2021 年 10 月 21 日～11 月 5 日）を開催した。【議案 1】藻類和名ワーキンググループにより作成された「藻類における和名の提唱と使用のガイドライン案」を承認し、学会ホームページ等で公表することの可否を審議し、その結果、国内評議員 15 名のうち 13 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。【議案 2】藻類和名ワーキンググループを解散し、日本藻類学会藻類和名委員会規約（案）および当委員会を設置することの可否を審議し、その結果、国内評議員 15 名のうち 13 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

2. 2021 年度第 8 回持ち回り評議員会

2021 年度第 8 回持ち回り評議員会（2021 年 10 月 22 日～11 月 5 日）を開催した。【議案 1】田中次郎会員を名誉会員に推薦すること可否を審議し、その結果、国内評議員 15 名のうち 13 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

3. 2021 年度第 9 回持ち回り評議員会

2021 年度第 9 回持ち回り評議員会（2021 年 11 月 30 日～12 月 10 日）を開催した。【議案 1】日本分類学会連合より、日本藻類学会が「研究評価に関するサンフランシスコ宣言（DORA）署名」に賛同するかどうかの回答を求められたことから、当署名への賛同の可否を審議し、その結果、国内評議員 15 名のうち 10 名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

4. 2021 年度第 2 回水産・海洋科学研究連絡協議会

2021 年 12 月 10 日（金）15:00～17:00 にオンライン（Zoom 会議）により行われ、日本藻類学会からは阿部剛史庶務幹事が出席した。各学会からの報告として、会員数減少対策についての情報共有、大会のオンライン開催、高校生による学会発表の意義とアフターフォローなどについての意見交換がなされた。日本学術会議第 183 回総会に関する報告として、今期はマスタープランを策定せず「骨太な取りまとめ」を行うと決定された旨が報告された。次回は 2022 年初夏に開催することが決定された。

5. 日本分類学会連合第 21 回総会

第 21 回総会が 2021 年 1 月 9 日（土）10:00～12:00 に Web を用いた会議で開催された。小亀一弘会長・阿部剛史庶務幹事が出席した。報告事項：第 20 回総会・シンポジウム、第 45～48 回役員会、生物科学学会連合第 23 回定例会議出席、ニュースレター発行、インターネット資料収集保存事業（国立国会図書館）、当連合 HP に ABS 関連の相談・支援依頼についての問合せ先リンク、藤原 NH 財団シンポジウム後援、DORA 署名に関する意見調査、生物科学学会連合第 24 回定例会議出席、ホームページ、データベース、メーリングリスト TAXA、国立自然史博物館設立ワーキンググループ。審議事項：2021 年度決算、2022 年度事業計画、2022 年度予算、

ABS 対策ワーキンググループ、2022–2023 年度役員・委員（いずれも案のとおり承認された）。

6. 自然史学会連合総会

2022 年 1 月 10 日 14:30～16:50 にオンラインで開催され、日本藻類学会からは北山太樹会員が参加した。代表挨拶の後、次期代表選挙が行われ、現代表の大路樹生氏が再任された。報告事項：加盟団体の現状、運営委員会の開催、講演会の開催、博物館部会の運営、連合 HP の運営、生科連定例会議、シンポジウム後援、博物館法改正、その他。審議：2020 年度決算報告、2020 年度監査報告、2021 年度会計経過報告、2022 年度事業案・予算案、連合への新規加盟団体（千葉県生物学会）、総会の開催時期、その他（いずれも案の通り承認された）。

7. 2022 年度第 1 回持ち回り評議員会

2022 年度第 1 回持ち回り評議員会（2022 年 1 月 5 日～1 月 14 日）を開催した。【議案 1】第 25 回日本藻類学会論文賞を下記の論文に授与することの可否を審議し、その結果、国内評議員 15 名のうち 13 名からの回答（棄権 1 名）があり、回答者全員の賛成により承認された。

Japan's nationwide long-term monitoring survey of seaweed communities known as the "Monitoring Sites 1000": Ten-year overview and future perspectives

Ryuta Terada, Mahiko Abe, Takuzo Abe, Masakazu Aoki, Akihiro Dazai, Hikaru Endo, Mitsunobu Kamiya, Hiroshi Kawai, Akira Kurashima, Taizo Motomura, Noboru Murase, Yoshihiko Sakanishi, Hiromori Shimabukuro, Jiro Tanaka, Goro Yoshida, Misuzu Aoki

Pages: 12–30 (Phycological Research Vol. 69)

8. 2022 年度第 2 回持ち回り評議員会

2022 年度第 2 回持ち回り評議員会（2022 年 1 月 5 日～1 月 21 日）を開催した。【議案 1】「藻類（Japanese Journal of Phycology）」の著作権ポリシー（公開許諾の方針）の改定について意見を募った。

9. 和文誌「藻類」バックナンバーの学会 HP への掲載状況

2021 年度総会において、2022 年より和文誌「藻類」を発刊後即時に学会 HP で公開することと決定しており、最新号が学会 HP で閲覧できるようになっている。

10. 学会 HP による情報配信と記載内容の更新

2021 年 10 月～12 月に掲載・更新した内容は次の通りです：

- ・Symbio2021（日本共生生物学会第 5 回大会）開催（オンライン）のお知らせ
- ・日本藻類学会特別賞、学術賞、研究奨励賞の募集案内（2022 年授与）
- ・教員・研究員募集
- ・2021 年度藻類談話会のご案内
- ・第 67 巻 3 号の PDF 公開
- ・第 46 回大会案内の公開